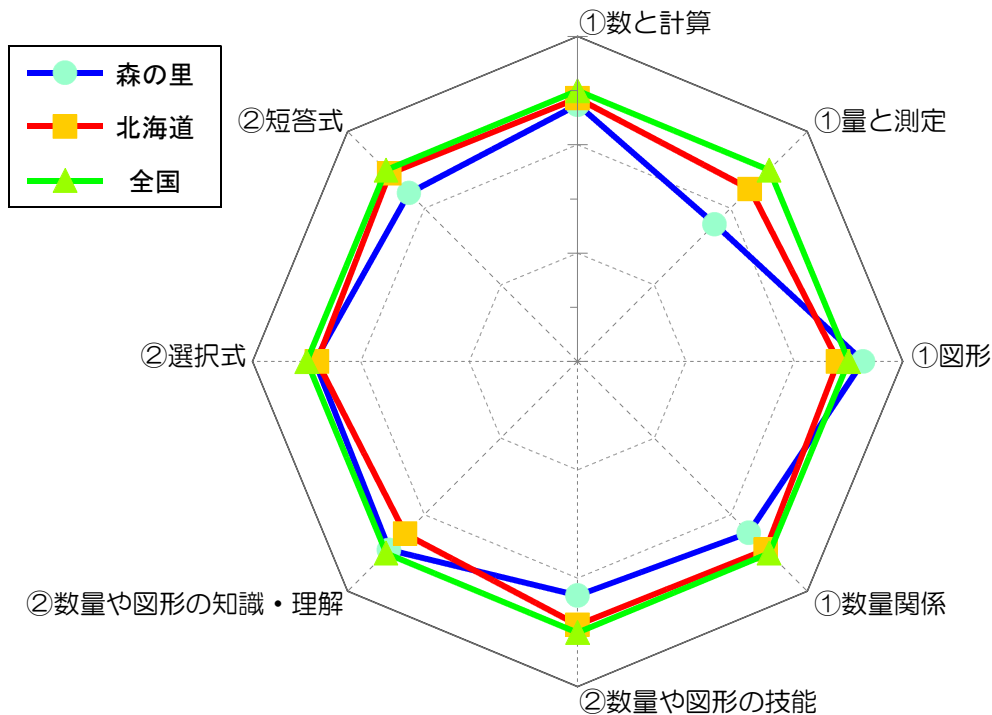


算数Aについて

成果 図形

課題 量と測定



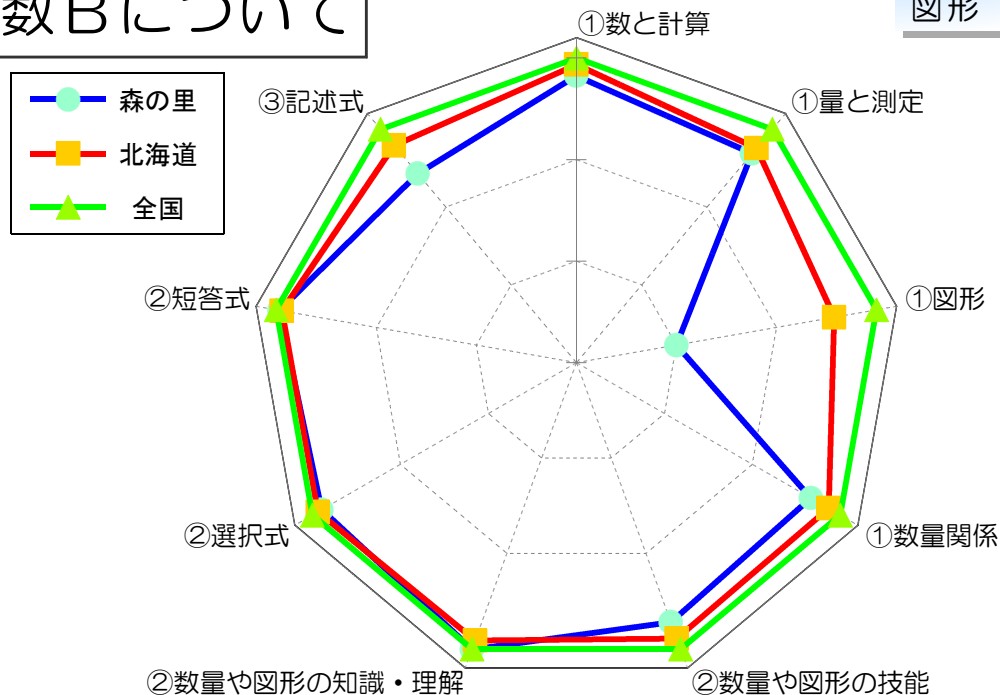
「図形」については、全道・全国を上回る結果となった。全体的に全道・全国に迫りつつあるが、今後も基礎基本の確実な定着を図っていくための授業改善が求められる。量と計測で課題があることから、「単位を用いた比較」や「面積の求め方」といった学習についての振り返りと反復学習が求められる。

算数Bについて

成果 数量や図形の知識

課題

図形 記述式解答



ほとんどの項目において、全道・全国を下回っており、「図形」に関する問題の落ち込みが特に大きい傾向にある。一方で「数量や図形に関する知識」は確実に身に付いていることから、習得した知識を活用する場面や応用する場面を計画的・意図的に設定するかが今後の課題となっている。記述式に関する問題については、算数に関する概念を言葉で表現する習慣を身に付けさせるとともに、その土台となる言語活動を充実させるための日常的な取り組みと授業改善が求められていると考える。